

27

午前の部

試験問題	試験時間
1～105	10時00分～12時40分

● 指示があるまで開かないこと。

<注意事項>

1. 問題の数

試験問題は1～105まで105問である。

2. 受験地、受験番号、氏名の記入方法

注意事項を読み終わったら、まず受験地、受験番号、氏名を文字と数字で記入する。次に答案用紙右側の受験地、受験番号の該当する○をマークする(塗りつぶす)。なお、記入にあたっては次の例を参考のこと。

(例) 受験地・東京都、受験番号・00027、氏名・栄養花子の場合

午前

受験地	東京都	受験番号	0	0	0	2	7
氏名	栄養花子						

受験地	北海道	宮城県	東京都	愛知県	大阪府	岡山県	福岡県	沖縄県
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				
受験番号	万	● ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨						
	千	● ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨						
	百	● ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨						
	拾	① ① ● ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨						
老	① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ● ⑧ ⑨							

3. 解答方法

解答方法は次のとおりである。

- (1) (例1)の問題では(1)から(5)までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に対する答えを1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例1)の質問には2つ以上マークした場合は誤りとする。

(例1)

201 管理栄養士の名称を用いて業務を開始できると定められている日である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 合格発表日
- (2) 合格証書受領日
- (3) 管理栄養士免許申請日
- (4) 管理栄養士名簿登録日
- (5) 免許証受領日

正しい答えは、「(4) 管理栄養士名簿登録日」であるから答案用紙の問題番号 201 の④をマークすればよい。

201	①	②	③	④	⑤
201	①	②	③	●	⑤

- (2) (例2)の問題では(1)から(5)までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に対する答えを2つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例2)の質問には1つ又は3つ以上マークした場合は誤りとする。

(例2)

202 管理栄養士名簿の登録事項に変更が生じた場合、訂正が必要なものである。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 氏名
- (2) 住所地
- (3) 本籍地都道府県名(日本の国籍を有しない者については、その国籍)
- (4) 勤務地
- (5) 出身校の所在地

正しい答えは、「(1) 氏名」「(3) 本籍地都道府県名」であるから答案用紙の問題番号 202 の①、③をマークすればよい。

202	①	②	③	④	⑤
202	●	②	●	④	⑤

4. その他の注意事項

- (1) 答案の作成にはHBの鉛筆を使用し濃くマークすること、○の外にはみ出さないように注意すること。

良い解答の例…… ● (濃くマークすること。)

悪い解答の例…… 

(解答にならない。)

- (2) 答えを修正した場合は必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり  のような消し方などをした場合は、修正したことにはならないから注意すること。
- (3) 答案用紙は折り曲げたりメモ等で汚したりしないよう特に注意すること。

1 公衆衛生に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 疾病の治療よりも、予防を重視する。
- (2) 疫学的手法により、調査研究が行われる。
- (3) 組織的なコミュニティの努力による。
- (4) 法律など社会的制度の整備を含む。
- (5) 病人は対象から除く。

2 公衆衛生活動におけるハイリスク戦略(ハイリスクアプローチ)の事例である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) マスメディアを用いた咳エチケットキャンペーン
- (2) 高血圧患者に対する減塩指導
- (3) ウォーキングのための遊歩道整備
- (4) 栄養成分表示の普及
- (5) 学校における栄養教諭の配置

3 公害の発生地域と原因物質の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 阿賀野川下流地域 —— ヒ素
- (2) 神通川下流地域 —— 銅
- (3) 四日市市臨海地域 —— アスベスト
- (4) 宮崎県土呂久地区 —— カドミウム
- (5) 水俣湾沿岸地域 —— メチル水銀

4 わが国において2005年以降、減少している人口動態統計の指標である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 合計特殊出生率
- (2) 従属人口指数
- (3) 悪性新生物による年間死亡数
- (4) 粗死亡率(全死因)
- (5) 年齢調整死亡率(全死因)

5 A地域における年齢階級別人口と1年間の死亡数、並びに基準集団の年齢階級別人口を表に示した。直接法によるA地域の年齢調整死亡率(人口10万対)である。正しいのはどれか。1つ選べ。

年齢階級	A 地域		基準集団
	年齢階級別人口(千人)	死亡数(人)	年齢階級別人口(10万人)
0～39歳	200	400	400
40～64歳	300	600	400
65歳以上	500	1,500	200
合計	1,000	2,500	1,000

- (1) 220
- (2) 250
- (3) 1,000
- (4) 2,200
- (5) 2,500

6 ある疾患に関して、横断研究に基づき算出できる疫学指標である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 罹患率
- (2) 有病率
- (3) 致命率
- (4) リスク因子の相対危険
- (5) リスク因子の寄与危険

7 上腕周囲長による低栄養のスクリーニング陽性基準値(カットオフ値)を高くすると、敏感度と偽陽性率がどう変わるかの組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- | | 敏感度 | 偽陽性率 |
|-----|-------|-------|
| (1) | 低くなる | 高くなる |
| (2) | 低くなる | 低くなる |
| (3) | 高くなる | 高くなる |
| (4) | 高くなる | 低くなる |
| (5) | 変わらない | 変わらない |

8 健康づくりのための身体活動に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 身体活動は、運動と生活活動とに分類される。
- (2) エクササイズガイドでは、5メッツ未満の身体活動は目標に含まない。
- (3) 週に30エクササイズ(メッツ・時)以上の身体活動が推奨されている。
- (4) 健康日本21の最終評価では、運動習慣者の割合は減少した。
- (5) 健康日本21の最終評価では、日常生活における歩数は増加した。

9 2000年以降のわが国の喫煙率に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 成人男性では、60%を超えている。
- (2) 成人男性では、増加傾向にある。
- (3) 成人女性では、20%を超えている。
- (4) 成人女性では、欧米先進国と比較して高い。
- (5) 高校生では、減少傾向にある。

10 わが国の歯科保健に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 喫煙は、歯周疾患のリスク因子である。
- (2) 80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合は、40%を超えている。
- (3) 国民生活基礎調査において、歯の病気による通院者率が把握されている。
- (4) 1歳6か月児、3歳児に対して、歯科健康診査が実施されている。
- (5) 介護予防事業プログラムには、「口腔機能の向上」が含まれている。

11 悪性新生物とその発生要因となる微生物の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 胆管がん ——— C型肝炎ウイルス
- (2) 膀胱がん ——— EBウイルス
- (3) 胃がん ——— トキソプラズマ
- (4) 子宮頸がん ——— ヒトパピローマウイルス(HPV)
- (5) 肝細胞がん ——— ヘリコバクター・ピロリ

12 わが国におけるHIV・エイズ(AIDS)に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) カリニ肺炎、カポジ肉腫を発症した場合、エイズと診断される。
- (2) 集団におけるHIV感染者の把握は難しい。
- (3) 血液、精液、膣分泌液を介してHIV感染が起こる。
- (4) 母子感染は確認されていない。
- (5) エイズは、感染症法の対象疾患(5類感染症)である。

13 原因・動機が特定された自殺者において、最も多い原因・動機である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 家庭問題
- (2) 男女問題
- (3) 経済・生活問題
- (4) 勤務問題
- (5) 健康問題

14 法律に基づく公衆衛生活動とその根拠法の組合せである。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 医療計画 ————— 地域保健法
- (2) 感染症による臨時休業 ——— 学校保健安全法
- (3) 受動喫煙の防止 ————— 健康増進法
- (4) 措置入院 ————— 障害者基本法
- (5) 定期の予防接種 ————— 労働安全衛生法

15 最近の国民医療費に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 65歳以上の1人当たりの医療費は、65歳未満の約1.5倍である。
- (2) 国民1人当たりの医療費は、年間約5万円である。
- (3) 傷病分類別入院医療費で最も多いのは、呼吸器系の疾患である。
- (4) 国民医療費の統計には、正常な妊娠、分娩に要する費用は、含まれない。
- (5) 国民医療費には、公費負担分は含まれない。

16 管内人口17万人で、1市4町を管轄する保健所の業務である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 母子健康手帳の交付
- (2) がん検診
- (3) 食中毒発生時の疫学調査
- (4) 要介護認定
- (5) 定期の予防接種

17 高齢者の医療の確保に関する法律に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 老人福祉法の改正により制定された。
- (2) 患者調査を規定している。
- (3) 介護老人保健施設を規定している。
- (4) 特定健康診査を規定している。
- (5) 生活機能評価を規定している。

18 労働衛生の3管理の作業環境管理に含まれるものである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 保護具の使用
- (2) 曝露時間の軽減
- (3) 特殊健康診断
- (4) 局所排気設備の設置
- (5) 適正部署への配置転換

19 学校保健統計調査による、むし歯(う歯)の未処置歯がある者の割合の学校別推移の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

小学校 高等学校

- (1) 低下傾向 —— 低下傾向
- (2) 低下傾向 —— 上昇傾向
- (3) 上昇傾向 —— 変化なし
- (4) 変化なし —— 低下傾向
- (5) 上昇傾向 —— 上昇傾向

20 国際保健に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 資金の貸し付けは、政府開発援助(ODA)に含まれる。
- (2) 乳幼児死亡率の削減は、国連のミレニアム開発目標(MDGs)に含まれる。
- (3) 国際協力機構(JICA)は、政府ベースの技術協力を担っている。
- (4) プライマリ・ヘルス・ケアの考え方は、オタワ憲章で提唱された。
- (5) わが国は、WHO のたばこ規制枠組条約を批准している。

21 ヒトの細胞小器官に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) リソソームでは、グリコーゲンの合成が行われる。
- (2) 滑面小胞体では、遺伝情報の転写が行われる。
- (3) 粗面小胞体では、たんぱく質の合成が行われる。
- (4) ゴルジ体では、ATP の合成が行われる。
- (5) ミトコンドリアでは、糖新生が行われる。

22 核酸および遺伝子に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ポリヌクレオチドは、糖とリン酸分子が交互に結合した構造をもつ。
- (2) 転写は、DNA ポリメラーゼによって触媒される。
- (3) 分枝アミノ酸は、それぞれ1つのコドンによって指定される。
- (4) 翻訳は、DNA を鋳型とする tRNA 合成の過程である。
- (5) mRNA は、アンチコドンをもつ。

23 酵素に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) アミラーゼは、酸化還元酵素である。
- (2) HMG-CoA 還元酵素は、アセチル CoA によってフィードバック阻害をうける。
- (3) フェニルアラニン水酸化酵素は、チロシンからフェニルアラニンを生成する。
- (4) アンギオテンシン変換酵素は、プロテインキナーゼである。
- (5) α -グルコシダーゼは、加水分解酵素である。

24 たんぱく質の代謝・機能に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ユビキチンは、たんぱく質の合成酵素である。
- (2) オートファジー(autophagy)は、たんぱく質の二次構造を構築する作用である。
- (3) ミオグロビンは、筋収縮たんぱく質である。
- (4) アミノ酸のアミノ基は、身体活動のためのエネルギー源となる。
- (5) G たんぱく質(GTP 結合たんぱく質)は、アドレナリン(エピネフリン)の作用発現に関与する。

- 25 糖質の代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) グルカゴンは、グリコーゲン分解を抑制する。
 - (2) グルコース-6-ホスファターゼは、解糖系の律速酵素である。
 - (3) アセチル CoA は、ピルビン酸と反応してクエン酸回路に入る。
 - (4) グリコーゲンが加リン酸分解されると、グルコース 1-リン酸が生成する。
 - (5) ペントースリン酸回路は、ペントースリン酸を分解するための代謝経路である。
- 26 脂質の代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) コレステロールは、身体活動のためのエネルギー源となる。
 - (2) 脂肪酸のβ酸化は、脂肪酸を水と二酸化炭素に分解する過程である。
 - (3) 肝細胞内で生成したクエン酸は、脂肪酸の合成材料となる。
 - (4) アラキドン酸は、オレイン酸から産生される。
 - (5) 骨格筋細胞は、脂肪酸をグルコースに変換する作用をもつ。
- 27 個体の恒常性とその調節に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) ストレス応答の疲はい期には、全身の同化反応が亢進する。
 - (2) 概日リズム(サーカディアンリズム)の形成には、遺伝子が関与する。
 - (3) 体温調節の中樞は、大脳皮質前頭葉に局在する。
 - (4) 循環血液量が減少すると、レニンの分泌が抑制される。
 - (5) 代謝性アシドーシスでは、呼吸数が減少する。
- 28 加齢に伴う変化に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 老年症候群では、ADLは維持される。
 - (2) フレイルティとは、身体機能の向上をいう。
 - (3) サルコペニアとは、皮下脂肪の減少をいう。
 - (4) 廃用症候群は、生活の不動性によって生じる。
 - (5) ロコモティブシンドロームでは、要介護になるリスクは低い。

- 29 脳死と判定するための必須項目である。誤っているのはどれか。1つ選べ。
- (1) 深昏睡
 - (2) 心停止
 - (3) 対光反射の消失
 - (4) 瞳孔の散大
 - (5) 自発呼吸の消失
- 30 疾患と症候の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 消化性潰瘍 ————— 咯血
 - (2) 非アルコール性脂肪肝炎(NASH) ———— チアノーゼ
 - (3) 潰瘍性大腸炎 ————— 下血
 - (4) 胆石症 ————— 浮腫
 - (5) 胃食道逆流症 ————— 黄疸
- 31 悪性腫瘍の診断に用いる検査である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) スパイロメトリ
 - (2) 磁気共鳴イメージング(MRI)
 - (3) パルスオキシメトリ
 - (4) 運動負荷心筋シンチグラフィ
 - (5) ポリソムノグラフィ
- 32 運動療法が適応となる症例である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 空腹時血糖 400 mg/dL の 1 型糖尿病
 - (2) 収縮期血圧 200 mmHg の妊娠高血圧症候群
 - (3) 尿ケトン体強陽性の 2 型糖尿病
 - (4) 血清クレアチニン値 10 mg/dL の慢性腎不全
 - (5) 血清トリグリセリド値 230 mg/dL の肥満(1度)の肥満症

33 代謝に関係するホルモン・サイトカインに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) アディポネクチンは、インスリンの作用を減弱する。
- (2) インクレチンは、インスリン分泌を促進する。
- (3) アドレナリンは、脂肪細胞での脂肪合成を促進する。
- (4) レプチンは、エネルギー消費を抑制する。
- (5) TNF- α (腫瘍壊死因子 α)は、インスリンの作用を増強する。

34 糖尿病に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 尿中C-ペプチド排泄量は、インスリン抵抗性の指標である。
- (2) 尿糖が陽性であれば、糖尿病と診断できる。
- (3) 試験紙法で尿たんぱくが持続陽性であれば、腎症2期である。
- (4) 微量アルブミン尿が認められれば、腎症3期以上である。
- (5) インスリンの絶対的不足によって、尿ケトン体が陽性になる。

35 咀嚼・嚥下に関与する器官の構造・機能に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 口峽は、歯列よりも口唇側の領域である。
- (2) 耳下腺は、咽頭に開口する。
- (3) 喉頭蓋は、嚥下時に気管を閉鎖する。
- (4) 舌咽神経は、舌の運動を支配する。
- (5) 側頭筋は、咀嚼筋の1つである。

36 循環の調節機序に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 血管運動中枢は、脊髄に存在する。
- (2) 心拍数は、頸動脈洞マッサージにより増加する。
- (3) 末梢血管抵抗は、血液粘性の増加により低下する。
- (4) バソプレシンは、血管収縮作用がある。
- (5) セロトニンは、血管拡張作用がある。

37 循環器疾患とその原因の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 肺塞栓 ————— 冠動脈閉塞
- (2) 大動脈解離 ———— 心室頻拍
- (3) 急性心筋梗塞 ———— 腎動脈狭窄
- (4) 心原性脳塞栓 ———— 心房細動
- (5) 肺水腫 ————— 深部静脈血栓

38 尿細管におけるミネラルの調節に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) レニンは、カリウムの吸収を促進する。
- (2) 副甲状腺ホルモン(PTH)は、カルシウムの吸収を促進する。
- (3) アルドステロンは、ナトリウムの排泄を促進する。
- (4) バソプレシンは、ナトリウムの吸収を促進する。
- (5) オキシトシンは、カリウムの吸収を促進する。

39 推算糸球体濾過量(eGFR)の計算に用いる項目である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 身長
- (2) 体重
- (3) 尿中たんぱく量
- (4) 血清尿素窒素値
- (5) 血清クレアチニン値

40 内分泌疾患に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) バセドウ病では、血清甲状腺刺激ホルモン(TSH)値が上昇する。
- (2) 原発性アルドステロン症では、血漿レニン活性が上昇する。
- (3) クッシング症候群では、糖新生が亢進する。
- (4) 甲状腺機能低下症では、血清コレステロール値が低下する。
- (5) 先端巨大症では、血清成長ホルモン(GH)値が低下する。

41 神経系の構造と機能に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 呼吸中枢は、脊髄にある。
- (2) 視覚中枢は、側頭葉にある。
- (3) 神経活動電位の伝導速度は、有髄線維が無髄線維より速い。
- (4) 副交感神経の興奮は、心拍数を増加させる。
- (5) 脳神経は、31対である。

42 認知症およびパーキンソン病に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) アルツハイマー型認知症では、まだら認知症がみられる。
- (2) 脳血管性認知症では、早期に人格障害がみられる。
- (3) 脳血管性認知症では、情動(感情)失禁がみられる。
- (4) パーキンソン病の主な病変部位は、側頭葉である。
- (5) パーキンソン病では、片麻痺がみられる。

43 慢性閉塞性肺疾患(COPD)に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 高齢になるほど患者数が減少する。
- (2) 拘束性障害に分類される。
- (3) 1秒量は病期分類に用いられる。
- (4) 安静時エネルギー消費量が低下する。
- (5) フィッシャー比が上昇する。

44 横紋筋で構成される臓器・器官である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 胃
- (2) 血管
- (3) 子宮
- (4) 心臓
- (5) 膀胱

45 骨粗鬆症に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 低カルシウム血症となる。
- (2) 肥満はリスク因子である。
- (3) ビタミンE欠乏はリスク因子である。
- (4) 膝関節の腫脹がみられる。
- (5) 高齢者の身長低下の原因となる。

46 妊娠に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 妊娠高血圧症候群では、たんぱく尿がみられる。
- (2) 妊娠初期における痙攣を、子癇という。
- (3) 妊娠中の糖尿病コントロール不良は、巨大児の原因となる。
- (4) 新生児メレナは、血液型不適合妊娠により生じる。
- (5) 神経管閉鎖障害の予防には、妊娠末期の葉酸摂取が有効である。

47 赤血球の産生を刺激するホルモンである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エリスロポエチン
- (2) グルカゴン
- (3) ノルアドレナリン
- (4) プロラクチン
- (5) レニン

48 血液疾患に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 血友病では、凝固因子の異常がみられる。
- (2) 再生不良性貧血では、ハプトグロビンが低下する。
- (3) ビタミンKの欠乏では、プロトロンビン時間(PT)が延長する。
- (4) 鉄欠乏性貧血では、血清フェリチン値が低下する。
- (5) 播種性血管内凝固症候群(DIC)では、フィブリン分解産物(FDP)が増加する。

49 免疫と生体防御に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ナチュラルキラー(NK)細胞は、特異的免疫を担う。
- (2) 唾液は、リゾチームを含む。
- (3) ワクチン接種による免疫は、受動免疫である。
- (4) キラー T 細胞は、体液性免疫を担う。
- (5) T 細胞は、免疫グロブリンを産生する。

50 感染症に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エイズ(AIDS)では、CD 4 陽性リンパ球が増加する。
- (2) 妊婦の麻疹感染は、胎児奇形を生じやすい。
- (3) 腸管出血性大腸菌の感染の有無は、ツベルクリン反応で調べる。
- (4) マイコプラズマ肺炎は、ウイルス感染症である。
- (5) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)は、院内感染の原因となる。

51 穀類のたんぱく質に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 米の主要たんぱく質は、オリゼニンである。
- (2) 小麦の主要たんぱく質は、グルテニンとグリアジンである。
- (3) とうもろこしの主要たんぱく質は、ゼインである。
- (4) そばのたんぱく質含有量は、小麦より少ない。
- (5) 精白米のたんぱく質含有量は、小麦より少ない。

52 野菜・果物・いも類の収穫後の変化に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) ほうれんそうは、収穫後の呼吸作用が大きい。
- (2) さつまいもは、キュアリングにより長く貯蔵できる。
- (3) かきは、脱渋の過程でタンニンが水溶性になる。
- (4) きゅうりには、低温障害が認められる。
- (5) バナナには、追熟現象が認められる。

53 発酵食品に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) たまりしょう油の主原料は、大豆である。
- (2) ぶどう酒のアルコール含量は、ブランデーより多い。
- (3) みりん風調味料は、混成酒である。
- (4) しょう油の色は、こうじかびの持つ酵素のはたらきにより生じる。
- (5) 納豆のビタミンKは、主にフィロキノンである。

54 日本食品標準成分表 2010 に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 穀物酢の酢酸含量は、炭水化物含量に含まれる。
- (2) 食物繊維のエネルギーは、0 kcal/g としている。
- (3) 卵類の炭水化物含量は、「差し引き法」で求めている。
- (4) ナイアシン含量は、トリプトファン含量を考慮している。
- (5) 「Tr」は、その成分値の最小記載量の 1/10 以上、5/10 未満である。

55 多糖と主な構成糖の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) セルロース —— ガラクトース
- (2) ペクチン —— マンヌロン酸
- (3) キチン —— N-アセチルグルコサミン
- (4) アガロース —— グルコース
- (5) アルギン酸 —— ガラクツロン酸

56 果実や野菜に含まれる色素成分に関する記述である。□に入る正しいものの組合せはどれか。1つ選べ。

フェノール性水酸基をもつ □ a □ には、酸性 pH 領域では □ b □ 色に変化し、鉄などの金属イオンを添加すると、錯体を形成し安定な □ c □ 色を呈するものがある。

- | | a | b | c |
|--------------|-------|---|---|
| (1) カロテン類 | ————— | 赤 | 青 |
| (2) カロテン類 | ————— | 黄 | 赤 |
| (3) アントシアニン類 | ————— | 青 | 黄 |
| (4) アントシアニン類 | ————— | 赤 | 青 |
| (5) アントシアニン類 | ————— | 黄 | 赤 |

57 食品の機能性成分とその生理機能の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- | | | |
|------------------|-------|--------------------------|
| (1) カゼインホスホペプチド | ————— | 便量増加による排便促進作用 |
| (2) サーデンペプチド | ————— | 二糖類分解酵素の阻害による血糖値上昇抑制 |
| (3) L-アラビノース | ————— | カルシウムの可溶化によるカルシウム吸収促進 |
| (4) グロビントタンパク分解物 | ————— | リパーゼの阻害による血中中性脂肪増加抑制 |
| (5) サイリウム種皮 | ————— | アンギオテンシン変換酵素の阻害による血圧降下作用 |

58 食品の安全確保対策に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) リスク分析の3要素は、リスク評価、リスク管理、リスクコミュニケーションである。
- (2) リスク評価は、危害要因判定、暴露評価、リスク判定からなる。
- (3) リスクコミュニケーションとは、関係者の間で情報や意見をお互いに交換することである。
- (4) わが国においてリスク評価は、消費者庁が行う。
- (5) わが国においてリスク管理は、行政の責務である。

59 鮮度・腐敗・酸敗に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 揮発性塩基窒素量は、サメの鮮度指標に用いる。
- (2) 初期腐敗とみなすのは、食品1g中の生菌数が $10^3 \sim 10^4$ 個に達したときである。
- (3) 酸価は、油脂の加水分解により生成する二酸化炭素量を定量して求める。
- (4) K値は、ATPの分解物を定量して求める。
- (5) トリメチルアミン量は、食肉の鮮度指標に用いる。

60 食中毒の主な発生源に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ノロウイルスによる食中毒は、鶏肉の生食が原因となる。
- (2) ボツリヌス菌による食中毒は、牛レバーの生食が原因となる。
- (3) リステリア菌による食中毒は、チーズが原因となる。
- (4) 嘔吐型セレウス菌による食中毒は、魚介類の生食が原因となる。
- (5) 腸炎ビブリオ菌による食中毒は、鶏卵の生食が原因となる。

61 寄生虫の主な感染源に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) トキソプラズマは、淡水魚類を介する。
- (2) 回虫は、魚介類を介する。
- (3) サイクロスポーラは、肉類を介する。
- (4) 赤痢アメーバは、生水を介する。
- (5) アニサキスは、野菜類を介する。

62 かび毒に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) デオキシニバレノールは、小麦に基準値が設定されている。
- (2) アフラトキシン B₁ は、75℃の加熱により分解することができる。
- (3) アフラトキシン B₁ は、主に牛肉で検出されている。
- (4) パツリンは、柑橘類の腐敗菌が産生する。
- (5) 黄変米のかび毒は、フザリウム属の繁殖が原因である。

63 食品成分の変化により生じる化合物に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 過酸化脂質は、微生物の作用により生成する。
- (2) N-ニトロソアミンは、食品中の第二級アミンと亜硫酸が反応して生成する。
- (3) トランス脂肪酸は、植物油の水素添加により生成する。
- (4) ヘテロサイクリックアミンは、食品中の脱炭酸酵素のはたらきで生成する。
- (5) アクリルアミドは、酵素的褐変で生成する。

64 食品衛生法に基づく食品添加物に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 食品添加物の指定は、消費者庁長官が行う。
- (2) 一般飲食物添加物は、食品添加物に含まれる。
- (3) 既存添加物は、指定添加物に含まれる。
- (4) 天然由来の化合物は、指定添加物に含まれる。
- (5) 天然香料は、指定添加物に含まれる。

65 残留農薬等のポジティブリスト制度に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 残留農薬基準値は、農薬の種類にかかわらず同じである。
- (2) 残留農薬基準値は、農薬の1日摂取許容量と同じである。
- (3) 特定農薬は、ポジティブリスト制度の対象である。
- (4) 動物用医薬品は、ポジティブリスト制度の対象である。
- (5) 残留基準値の定めのない農薬は、ポジティブリスト制度の対象外である。

66 食品の表示に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 分別生産流通管理が行われた非遺伝子組換え食品には、「非遺伝子組換え食品」の表示が義務づけられている。
- (2) 分別生産流通管理をしていない非遺伝子組換え食品は、「遺伝子組換え不分別」の表示が義務づけられている。
- (3) ビタミンCを栄養強化の目的で使用する場合は、「栄養強化剤(ビタミンC)」の表示が義務づけられている。
- (4) さば、大豆を原材料として加工食品に使用する場合は、アレルギー表示が義務づけられている。
- (5) そば、落花生は、特定原材料としての表示が義務づけられている。

67 いわゆる健康食品の広告に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 「〇〇病が治る」の表示があれば、薬事法違反となる。
- (2) 「△△病を予防する」の表示があれば、薬事法違反となる。
- (3) 身体の構造と機能に影響を及ぼす表現を使用すれば、食品安全基本法違反となる。
- (4) 「最高のダイエット」と食品に表示することは、健康増進法違反となる。
- (5) ヒトへの有効性を表現するグラフを記載した新聞チラシは、健康増進法違反となる。

68 特定保健用食品に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 特定保健用食品の許可基準は、食品衛生法に基づいている。
- (2) 錠剤型、カプセル型をしていない食品であることが求められる。
- (3) 「高コレステロール血症のリスクを低減する」との表示が許可されている。
- (4) 安全性を評価するヒト試験は、消費者庁が行う。
- (5) 規格基準型特定保健用食品は、消費者庁事務局の審査で許可される。

69 栄養機能食品の機能表示である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) パントテン酸は、夜間の視力の維持を助ける栄養素です。
- (2) ビタミン B₁ は、たんぱく質からのエネルギーの産生と皮膚や粘膜の健康維持を助ける栄養素です。
- (3) カルシウムは、皮膚や粘膜の健康維持を助ける栄養素です。
- (4) ビタミン A は、抗酸化作用により、体内の脂質を酸化から守り、細胞の健康維持を助ける栄養素です。
- (5) ビタミン B₁₂ は、赤血球の形成を助ける栄養素です。

70 加工食品の原料成分と添加する化学物質の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 豆腐のグリシニン ————— 硝酸カリウム
- (2) こんにゃくのグルコマンナン ————— 水酸化カルシウム
- (3) ジャムの高メトキシルペクチン ————— 水酸化カリウム
- (4) ベーコンのミオグロビン ————— 硫酸ナトリウム
- (5) 水あめのデンプン ————— 塩化マグネシウム

71 食品と電磁波に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) γ 線は、食品表面にとどまる。
- (2) 紫外線は、食品内部に浸透する。
- (3) マイクロ波による食品の加熱は、食品中の水の分子運動による。
- (4) 赤外線による食品の加熱は、対流による。
- (5) 殺菌効果が最も高い紫外線の波長は、350 nm である。

72 食品の保存に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 乾燥では、食品中の自由水を増加させる。
- (2) 酢漬けでは、pH を上昇させる。
- (3) 塩漬けでは、結合水を増加させる。
- (4) MA (Modified Atmosphere) 包装では、包装内の二酸化炭素濃度を低下させる。
- (5) 氷温貯蔵では、食品中の水を凍結させる。

73 食材をゆでる時の添加材料とその目的に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) れんこんの歯ざわりをよくするために、酢を入れる。
- (2) たけのこのあくを除くために、唐辛子を入れる。
- (3) さつまいもを軟らかくするために、みょうばんを入れる。
- (4) カリフラワーの色を白くするために、重曹を入れる。
- (5) わらびの色を良くするために、酢を入れる。

74 肉類の調理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 肉を長時間加水加熱すると、筋原線維たんぱく質がゼラチンとなる。
- (2) 豚脂は、牛脂よりも融け始める温度が高い。
- (3) 豚ロース肉のエネルギー減少量は、ゆでがフライパン焼きより小さい。
- (4) ヒレ肉は、短時間の加熱料理より長時間の煮込み料理に適する。
- (5) 肉をしょうが汁に浸漬すると、プロテアーゼの作用により軟化する。

75 食品のテクスチャーに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) えんどう困難者用食品の許可基準には、付着性の基準値がある。
- (2) マヨネーズの粘度は、コロイドの平均粒子径が大きいほど高い。
- (3) 生クリームは、油中水滴型エマルションである。
- (4) 流動性をもったコロイド分散系を、ゲルという。
- (5) 砂糖濃度が同じとき、ゲルがゾルよりも甘味を強く感じる。

76 栄養素の過剰摂取とその病態の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 炭水化物 ————— クワシオルコル(kwashiorkor)
- (2) たんぱく質 ——— マラスムス(marasmus)
- (3) ビタミン B₁ ——— 頭蓋内圧亢進
- (4) ビタミン D ————— 高カルシウム血症
- (5) 葉酸 ————— ペラグラ皮膚炎

77 食物摂取および生体リズムに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 味覚は、摂食行動に影響しない。
- (2) 味覚の閾値は、加齢に伴って低くなる。
- (3) 甘味の感覚は、ミネラルを認識することによる。
- (4) 不規則な食生活によって、生体リズムの乱れが生じる。
- (5) 食物の消化・吸収には、日内リズムはない。

78 栄養素の消化・吸収と体内動態に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) ペプシノーゲンは、トリプシンによって活性化される。
- (2) スクロースは、小腸微絨毛膜の酵素によって消化される。
- (3) 胃酸分泌は、ガストリンによって抑制される。
- (4) 脂溶性ビタミンの吸収は、胆汁酸によって抑制される。
- (5) 吸収された脂溶性ビタミンは、キロミクロンに取り込まれて運搬される。

79 消化管における栄養素の吸収に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) フルクトースの吸収上皮細胞への取り込みは、グルコースの存在によって低下する。
- (2) 脂溶性ビタミンの吸収は、脂質の多い食事で増加する。
- (3) ビタミン B₁₂ の吸収は、胃液の影響を受ける。
- (4) 亜鉛の吸収は、共存する食品成分の影響を受ける。
- (5) 水は、小腸で吸収される。

80 たんぱく質・アミノ酸の体内代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) たんぱく質摂取量の増加によって、体たんぱく質の合成は減少する。
- (2) たんぱく質摂取量の増加によって、尿素合成は減少する。
- (3) たんぱく質摂取量の増加によって、ビタミン B₆ の必要量は減少する。
- (4) たんぱく質の摂取不足によって、窒素出納は正になる。
- (5) たんぱく質の摂取不足によって、血中ラピッドターンオーバープロテイン(RTP)値は低下する。

81 糖質の代謝経路に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 解糖系による ATP 産生は、有酸素運動では起こらない。
- (2) コリ回路で生成したグルコースは、筋肉で利用されない。
- (3) グルコース・アラニン回路によるグルコースの生成は、空腹時に減少する。
- (4) ペントースリン酸回路は、脂質合成のための NADPH を供給する。
- (5) ウロン酸回路(グルクロン酸経路)は、アミノ酸からの糖新生を行う。

- 82 糖質の代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 糖質の重量あたりに発生するエネルギー量は、脂肪より大きい。
 - (2) グルコースからの ATP 産生には、ビタミン C が必要である。
 - (3) 体内のグリコーゲン貯蔵総量は、食事の影響を受けない。
 - (4) 筋肉グリコーゲンの分解は、アドレナリン(エピネフリン)により抑制される。
 - (5) 難消化性糖質は、発酵を受けて代謝される。
- 83 脂質の栄養に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 食後には、貯蔵脂肪の分解が促進される。
 - (2) 食後には、血液中の VLDL が減少する。
 - (3) 絶食によって、血液中のキロミクロンは増加する。
 - (4) 絶食によって、血液中の遊離脂肪酸は増加する。
 - (5) 絶食によって、ケトン体の合成は減少する。
- 84 リポたんぱく質の代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) キロミクロンは、コレステロールを含まない。
 - (2) VLDL は、主に小腸で合成される。
 - (3) LDL は、VLDL から生成される。
 - (4) LDL は、VLDL よりトリアシルグリセロール含有率が高い。
 - (5) HDL は、肝臓で合成されたコレステロールを末梢組織へ運搬する。
- 85 脂溶性ビタミンに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 脂溶性ビタミンは、水溶性ビタミンに比べて体内に蓄積しやすい。
 - (2) β -カロテンの大量摂取は、胎児奇形のリスクを高める。
 - (3) ビタミン D は、生体膜におけるフリーラジカルの生成を防止する。
 - (4) ビタミン E は、血液凝固因子の産生に必要である。
 - (5) ビタミン K は、欠乏すると溶血性貧血をきたす。

- 86 ビタミン B 群の働きと栄養に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) ビタミン B₂ は、脂肪酸からのエネルギー産生に必要である。
 - (2) ナイアシンの必要量は、エネルギー摂取量が多いと減少する。
 - (3) 葉酸が不足すると、血中ホモシステイン値は低下する。
 - (4) ビタミン B₁₂ が不足すると、DNA 合成は亢進する。
 - (5) ビオチンは、コエンザイム A (CoA) の構成成分である。
- 87 微量ミネラルの代謝と栄養に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 鉄には、過剰症はない。
 - (2) 亜鉛は、ヘモジデリン(hemosiderin)の構成成分である。
 - (3) 銅は、スーパーオキシドジスムターゼ(SOD)の構成成分である。
 - (4) マンガンは、チロキシンの構成成分である。
 - (5) クロムが欠乏すると、インスリンの作用が増強する。
- 88 水・電解質に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 細胞内液量は、細胞外液量より少ない。
 - (2) 加齢に伴って、細胞内液量は増加する。
 - (3) 高張性脱水では、細胞外液の浸透圧は低い。
 - (4) 浮腫は、細胞間質液量の増加によって生じる。
 - (5) 飲水量が多くなると、不可避尿量は増加する。
- 89 エネルギー代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。
- (1) 食事誘発性熱産生で発生したエネルギーは、運動に利用できる。
 - (2) 骨格筋のエネルギー代謝量は、運動中は変化しない。
 - (3) 基礎代謝量は、甲状腺ホルモンの影響を受ける。
 - (4) 基礎代謝量は、座位で測定する。
 - (5) 体重あたりの基礎代謝量は、体脂肪率に比例する。

90 栄養アセスメントに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 骨格筋量は、血清総たんぱく質値によって評価する。
- (2) 内臓脂肪蓄積量は、血清トリグリセリド値によって評価する。
- (3) 潜在性鉄欠乏状態は、血清セルロプラスミン値によって評価する。
- (4) ビタミンB₁欠乏は、赤血球のトランスケトラーゼ活性によって評価する。
- (5) 数日間のたんぱく質代謝は、血清アルブミン値によって評価する。

91 日本人の食事摂取基準(2010年版)に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 推定平均必要量(EAR)は、個人が目指す摂取量である。
- (2) 目標量(DG)は、摂取すべき最小量である。
- (3) 目安量(AI)は、動物実験を根拠に算定する。
- (4) 耐容上限量(UL)は、生活習慣病の一次予防を目的として算定する。
- (5) 外挿法は、エビデンスがない性・年齢階級の指標の算出に用いる。

92 乳幼児期の身体的変化に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 身長が出生時の2倍となるのは、2歳頃である。
- (2) 体重が出生時の2倍となるのは、1歳頃である。
- (3) 頭囲と胸囲が同じとなるのは、4歳頃である。
- (4) 乳歯が生え始めるのは、生後6か月頃である。
- (5) 大泉門が閉鎖するのは、生後1か月頃である。

93 成長・発達の過程に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 骨格は、乳幼児期と思春期に著しく発育する。
- (2) 脳の重量は、6歳で成人の約60%になる。
- (3) 尿濃縮力は、1歳で成人と同程度になる。
- (4) 胸腺の重量は、思春期以後増加する。
- (5) 微細運動の発達は、粗大運動の発達に先行する。

94 妊娠期・授乳期に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 血中エストロゲン値の上昇により、乳汁分泌は促進される。
- (2) 吸啜刺激は、プロラクチン分泌を低下させる。
- (3) オキシトシンは、子宮筋の弛緩を促す。
- (4) 日本人の食事摂取基準(2010年版)では、出産後5か月までの泌乳量を400 mL/日としている。
- (5) 非妊娠時の体格区分が「ふつう」の妊婦は、妊娠中の推奨体重増加量を7～12 kgとする。

95 妊娠母体の生理的変化に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 循環血液量は、減少する。
- (2) 血液凝固能は、低下する。
- (3) 腸管のカルシウム吸収率は、上昇する。
- (4) インスリンの感受性は、増大する。
- (5) 血中ヒト絨毛性ゴナドトロピン(hCG)値は、妊娠初期よりも末期に高い。

96 新生児期・乳児期の栄養ケアに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 日本人の食事摂取基準(2010年版)では、人工乳の組成に基づいて目安量(AI)を策定している。
- (2) 母乳性黄疸が出現した場合には、母親のカロテン摂取量を制限する。
- (3) 二次性乳糖不耐症では、乳糖強化食品を補う。
- (4) 新生児頭蓋内出血の予防として、ビタミンEを投与する。
- (5) フェニルケトン尿症では、低フェニルアラニンミルクを用いる。

97 離乳の進め方に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 卵黄(固ゆで)は、生後5、6か月頃から与える。
- (2) 離乳食を1日3回にするのは、離乳開始後1か月頃である。
- (3) 手づかみ食べは、摂食機能の発達を促す。
- (4) 哺乳反射の減弱は、離乳完了の目安となる。
- (5) フォローアップミルクは、育児用ミルクの代替品である。

98 幼児期の栄養に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 体重当たりのたんぱく質維持必要量は、男児が女児より多い。
- (2) 1～2歳児の基礎代謝基準値は、3～5歳児より高い。
- (3) カウプ指数による肥満判定基準には、男女差がある。
- (4) 食事の脂肪エネルギー比率は、30～40%が適当である。
- (5) マラスムス(marasmus)では、浮腫がみられる。

99 学童期の栄養に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) むし歯(う歯)のある児童の割合は、約80%である。
- (2) 二次性肥満は、原発性肥満より多い。
- (3) ローレル指数は、年齢と共に上昇する。
- (4) 痩身傾向児の割合は、年齢と共に増加する。
- (5) 日本人の食事摂取基準(2010年版)の身体活動レベル(PAL)は、2区分である。

100 思春期の女子に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 思春期発育急進現象(思春期スパート)の開始は、男子より遅い。
- (2) 卵胞刺激ホルモン(FSH)の分泌量は、思春期前に比べ低下する。
- (3) カルシウム蓄積速度は、思春期前半に最大となる。
- (4) 貧血の多くは、巨赤芽球性貧血である。
- (5) 神経性食欲不振症は、男子より少ない。

101 日本人の食事摂取基準(2010年版)の目標量の策定根拠となった疾患と栄養素の組合せである。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 脳出血 ————— 飽和脂肪酸
- (2) 糖尿病 ————— n-6系脂肪酸
- (3) 虚血性心疾患 ———— コレステロール
- (4) 高血圧 ————— ナトリウム
- (5) 心筋梗塞 ————— 食物繊維

102 嚥下障害・誤嚥に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 温度が体温程度である食事は、誤嚥しやすい。
- (2) とろみをつけたお茶は、誤嚥しやすい。
- (3) 認知症患者は、誤嚥を起こしにくい。
- (4) 誤嚥を防ぐには、食物嚥下時に顎を上げる。
- (5) きざみ食は、誤嚥を起こしにくい。

103 習慣的な有酸素運動によって起こる身体の変化に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 安静時心拍数は、低下する。
- (2) 安静時収縮期血圧は、上昇する。
- (3) 最大酸素摂取量は、低下する。
- (4) 血清HDL-コレステロール値は、低下する。
- (5) 骨格筋のグルコース輸送体(GLUT4)の機能は、低下する。

104 高温環境によって脱水が生じた時の身体の変化である。正しいのはどれか。2つ
選べ。

- (1) 甲状腺機能は亢進する。
- (2) 循環血液量は増加する。
- (3) バソプレシンの分泌は低下する。
- (4) アルドステロンの分泌は亢進する。
- (5) 心拍数は増加する。

105 低圧環境(高地)による身体の初期変化である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 肺泡内酸素分圧は上昇する。
- (2) 食欲は亢進する。!
- (3) ヘマトクリット値は低下する。
- (4) 口渇感は低下する。
- (5) 呼吸数は低下する。

27

午後の部

試験問題	試験時間
106~200	13時55分~16時20分

● 指示があるまで開かないこと。

<注意事項>

1. 問題の数

試験問題は106~200まで95問である。

2. 受験地、受験番号、氏名の記入方法

注意事項を読み終わったら、まず受験地、受験番号、氏名を文字と数字で記入する。次に答案用紙右側の受験地、受験番号の該当する○をマークする(塗りつぶす)。なお、記入にあたっては次の例を参考のこと。

(例) 受験地・東京都、受験番号・00027、氏名・栄養花子の場合

午後

受験地	東京都	受験番号	0	0	0	2	7
氏名	栄養花子						

受験地	北海道	宮城県	東京都	愛知県	大阪府	岡山県	福岡県	沖縄県
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
受験番号	万	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	千	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	百	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	拾	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
巻	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

3. 解答方法

解答方法は次のとおりである。

- (1) (例1)の問題では(1)から(5)までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に対する答えを1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例1)の質問には2つ以上マークした場合は誤りとする。

(例1)

201 管理栄養士の名称を用いて業務を開始できると定められている日である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 合格発表日
- (2) 合格証書受領日
- (3) 管理栄養士免許申請日
- (4) 管理栄養士名簿登録日
- (5) 免許証受領日

正しい答えは、「(4) 管理栄養士名簿登録日」であるから答案用紙の問題番号 201 の④をマークすればよい。

201	①	②	③	④	⑤
			↓		
201	①	②	③	●	⑤

- (2) (例2)の問題では(1)から(5)までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に対する答えを2つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例2)の質問には1つ又は3つ以上マークした場合は誤りとする。

(例2)

202 管理栄養士名簿の登録事項に変更が生じた場合、訂正が必要なものである。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 氏名
- (2) 住所地
- (3) 本籍地都道府県名(日本の国籍を有しない者については、その国籍)
- (4) 勤務地
- (5) 出身校の所在地

正しい答えは、「(1) 氏名」「(3) 本籍地都道府県名」であるから答案用紙の問題番号 202 の①、③をマークすればよい。

202	①	②	③	④	⑤
			↓		
202	●	②	●	④	⑤

4. その他の注意事項

- (1) 答案の作成にはHBの鉛筆を使用し濃くマークすること、○の外にはみ出さないように注意すること。

良い解答の例…… ● (濃くマークすること。)

悪い解答の例…… 

(解答にならない。)

- (2) 答えを修正した場合は必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり  のような消し方などをした場合は、修正したことにはならないから注意すること。
- (3) 答案用紙は折り曲げたりメモ等で汚したりしないよう特に注意すること。

106 食生活以外の生活習慣も視野にいたした栄養教育に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 減量の指導では、身体活動と食生活の両面の支援を行う。
- (2) 飲酒に関する指導では、アルコールには依存性があることを考慮して行う。
- (3) 睡眠に関する指導では、ストレス状態を考慮して行う。
- (4) 休養に関する指導では、時には気分を変えてレストラン等での外食を勧めてみる。
- (5) 喫煙者の減塩指導では、味覚が鋭敏になっていることを考慮して行う。

107 地域において、栄養成分表示を参考にする人を増加させる取組みを計画している。プリシード・プロシードモデルに基づいて行うアセスメントの項目と、その内容の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 準備(前提)要因 ————— 栄養成分表示に関する法的整備の有無
- (2) 強化要因 ————— 栄養成分表示を活用して減量に成功した人との交流の有無
- (3) 実現要因 ————— 栄養成分表示の意味を理解している人の割合
- (4) 環境 ————— 栄養成分表示の利用をサポートする人の存在
- (5) 行動とライフスタイル ——— 栄養成分表示を実施している飲食店数

108 体重コントロールを続ける上で必要な対処法の支援と、行動変容技法の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) リラクゼーション法について話し合った ——— ソーシャルスキルトレーニング
- (2) 食べなくなったら、3分間我慢してみることを勧めた ——— 認知再構成
- (3) よく食べる人の近くに座らないよう、助言した ——— 刺激統制
- (4) 菓子を勧められたときの断り方について練習した ——— 反応妨害・拮抗
- (5) 食べ過ぎても、次の食事で調整すればいいと伝えた ——— ストレスマネジメント

109 減量を目的とする栄養カウンセリングにおいて、目標に関する話し合いを行った。行動契約の目標宣言として正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 減量の重要性を理解する。
- (2) 低エネルギー食品を知る。
- (3) 調理のスキルを身につける。
- (4) 体重を毎日測る。
- (5) 1か月で2kg減量する。

110 栄養カウンセリングでは、開かれた(開いた)質問と、閉ざされた(閉じた)質問を組合せて用いる。開かれた質問として、正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 自分の健康を大事だと思いませんか。
- (2) 食事を作っているのは、どなたですか。
- (3) 減量することによる良い点は何だと思えますか。
- (4) 間食をやめる日を、いつからにしますか。
- (5) 減量に取り組まれていて、気分が落ち込むことはないですか。

111 グループカウンセリングの中で観察された参加者の行動と、行動変容技法の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 成功体験者が自分の体験を話した ————— 意思決定バランス
- (2) 共通する課題をグループで話し合い解決策を考えた ——— オペラント強化
- (3) 互いの期待に応える気持ちを高めるために、体験談を話す順番を決めた ——— モデリング
- (4) うまく取り組めた人を互いにほめた ————— グループダイナミクス
- (5) 目標につまずいている人に、周りの人が助言した ——— ソーシャルサポート

112 食環境整備には、食物へのアクセス面の整備と、情報へのアクセス面の整備がある。食物へのアクセス面の整備として、正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 飲食店におけるメニューの栄養成分表示
- (2) 従業員食堂における副菜の品目の増加
- (3) ジャンクフードの広告規制
- (4) 高脂肪食品への課税
- (5) 食品の虚偽・誇大表示の法的規制

113 児童の「朝食を食べる」ことに関する自己効力感(セルフ・エフィカシー)をアセスメントするための質問である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 朝食には何を食べていますか。
- (2) 自分の朝食の準備ができますか。
- (3) 自分の朝食の栄養バランスを判断できますか。
- (4) 寝坊しても朝食を食べて行くことができますか。
- (5) 家族は毎日朝食を食べていますか。

114 特定保健指導の積極的支援の対象となった者と初回面接を行い、プログラムを作成するときの記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 初回面接を行えるのは、医師、保健師、栄養士である。
- (2) 初回面接における個別面接は、15分以内で終了する。
- (3) 生活習慣改善のメリットとデメリットについて共に考える。
- (4) 行動目標は、保健指導実施者が主となって設定する。
- (5) 初回面接後の継続的な支援は、1か月以内に終了する。

115 食事バランスガイドに基づく、何をどれだけ食べたらいいかに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 主食は、主菜と同量のサービング(SV)を目標とする。
- (2) 主菜の主材料は、肉、魚、卵、乳製品である。
- (3) 100% 野菜ジュースは、副菜としてサービング(SV)を数える。
- (4) 菓子パンは、主食としてサービング(SV)を数える。
- (5) 果物は、1日1サービング(SV)を目標とする。

116 栄養教育の対象と学習方法の組合せである。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 野菜が嫌いな幼児 ————— プレインストーミング
- (2) 朝食欠食のある高校生 ————— パネルディスカッション
- (3) 減量を希望しているサラリーマン ——— ピア・エデュケーション
- (4) 母乳育児に抵抗を示す妊婦 ————— ロールプレイング
- (5) 低栄養傾向の高齢者 ————— デモンストレーション

117 栄養教育の目標には、学習目標、行動目標、環境目標、結果目標がある。社員を対象としたメタボリックシンドローム予防の栄養教育の結果目標である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 社員食堂における栄養情報リーフレットの配布を、現状の年6回から年12回にする。
- (2) 1日に必要なエネルギー摂取量の目安がわかる者の割合を、現状の60%から100%にする。
- (3) 社員食堂でヘルシーメニューを選択する者の割合を、現状の50%から70%にする。
- (4) BMI 25.0 kg/m²以上の者の割合を、現状の40%から30%にする。
- (5) 主食・主菜・副菜の揃った食事をしている者の割合を、現状の50%から80%にする。

118 小学校における食に関する指導の評価項目と評価の種類のコラボせである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 年間指導計画の内容 ————— 企画評価
- (2) 児童の朝食における栄養素摂取量の変化 ————— 経過評価
- (3) 食に関する指導における学校給食の活用状況 ——— 影響評価
- (4) 学校間や家庭・地域との連携状況 ————— 結果評価
- (5) 学校給食における地場産物の活用状況 ————— 経済評価

119 授乳の支援に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 適切な授乳方法の支援は、出産直後から開始する。
- (2) 母親の訴えに耳を傾け、赤ちゃんの状態をよく観察して支援する。
- (3) 授乳時の母子のスキンシップが図られるよう、支援する。
- (4) 母親の周囲の人に対して、授乳に関する情報提供を行う。
- (5) 授乳で困った時に、気軽に相談できる環境づくりを進める。

120 睡眠が充分にとれていないという訴えをもつ、栄養教育の対象者への対応に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 寝つきをよくするには、就寝前のカフェインの摂取に注意するよう話す。
- (2) 睡眠の質を良くするには、就寝前の飲酒が有効だと話す。
- (3) 定期的に運動することで、熟睡できると話す。
- (4) 睡眠時間には、個人差があることを考慮して対応する。
- (5) 睡眠障害が疑われる場合は、専門家と相談する。

121 医療と臨床栄養に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 患者が栄養指導を受ける権利をセカンド・オピニオンという。
- (2) 居宅療養管理指導は、介護保険制度のもとで行われる。
- (3) 後期高齢者医療制度は、65歳以上が対象である。
- (4) 入院時食事療養費は、入院基本料に含まれる。
- (5) 患者への説明と同意をノーマリゼーションという。

122 診療報酬制度における栄養サポートチーム加算に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 2000年に新設された。
- (2) 経口摂取できる患者は、算定対象にならない。
- (3) 管理栄養士は、専従者になることができる。
- (4) 療養病棟の患者は、算定対象になる。
- (5) 算定患者数は、1チーム1日当たり50人である。

123 傷病者の栄養ケア・マネジメントに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 入院までの経過は、家族歴から読み取る。
- (2) 主観的包括的アセスメント(SGA)は、栄養スクリーニングに用いる。
- (3) モニタリングは、初回面接で完了する。
- (4) 主訴には、過去の手術の有無が含まれる。
- (5) 既往歴には、退院時の問題点が整理されている。

124 症候と血液性状のコラボせである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 口角炎 ————— ビリルビンの増加
- (2) 紫斑 ————— 血小板の減少
- (3) 匙状爪(スプーンネイル) ——— アルブミンの減少
- (4) 皮膚の黄染 ————— カルシウムの増加
- (5) くも状血管腫 ————— 鉄の減少

125 身体計測とその評価項目のコラボせである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 上腕筋囲 ————— 骨密度
- (2) ウエスト周囲長 ————— 骨格筋量
- (3) 膝高(膝下高) ————— 身長
- (4) 肩甲骨下部皮下脂肪厚 ——— 腹水量
- (5) クレアチニン身長係数 ——— 内臓脂肪量

126 経口栄養法が適応できる患者である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) JCS(Japan Coma Scale)が100である。
- (2) 嚥下が不可能である。
- (3) 上部消化管に閉塞がある。
- (4) 胆のうが摘出されている。
- (5) 小腸に穿孔がある。

127 経鼻胃管により経腸栄養剤を投与した時に生じた下痢の原因である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 乳糖を含むものを使用した。
- (2) 浸透圧の低いものを使用した。
- (3) 投与速度を400 mL/時とした。
- (4) 投与時の温度を4℃とした。
- (5) 前日に溶解したものを使用した。

128 静脈栄養補給法に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 末梢静脈栄養補給法で用いる輸液のアミノ酸濃度は、30%である。
- (2) 高カロリー輸液基本液には、鉄が含有されている。
- (3) 成人では、非たんぱく質熱量/窒素比を700 kcal/gとする。
- (4) 中心静脈栄養補給法では、ブドウ糖濃度が20%の輸液を使用できる。
- (5) 脂肪乳剤の投与は、1 g/kg 標準体重/時とする。

129 栄養ケアのモニタリングと再評価に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギー投与量の設定には、体温を考慮する。
- (2) エネルギー投与量の設定には、身体活動を考慮する。
- (3) 高張性脱水症では、舌乾燥がみられる。
- (4) 肝予備能は、血清 α -フェトプロテイン(AFP)値を用いて評価する。
- (5) 飢餓状態患者では、血清リン値を確認する。

130 α -グルコシダーゼ阻害薬とスルフォニル尿素薬を服用している2型糖尿病患者が、通常の4分の1の朝食を摂取した。その2時間後に、血糖値は40 mg/dLを示し、手足のふるえや脱力感をきたした。対処法として正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) インスリン投与
- (2) フルクトース投与
- (3) グルコース投与
- (4) スクロース投与
- (5) ラクトース投与

131 POS(problem oriented system)に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 患者の全人的ケアを目指す。
- (2) 問題志向型診察録(POMR)の基本データは、SOAPに分けて記録する。
- (3) 問題解決のためのプロセスを示す。
- (4) 栄養アセスメントの結果を記録する。
- (5) 複数の医療スタッフからの情報が収集できる。

132 52歳、男性。10年来の菜食主義者で、下肢のしびれ、知覚鈍麻、舌乳頭の萎縮、平均赤血球容積(MCV)が110 fLを示した。この症例で欠乏しているビタミンである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ビタミンA
- (2) ビタミンB₁
- (3) ビタミンB₁₂
- (4) ビタミンC
- (5) ビタミンD

133 肥満に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 原発性肥満では、除脂肪体重を減らす。
- (2) 原発性肥満では、月経異常は起こらない。
- (3) クッシング症候群では、中心性肥満を呈する。
- (4) 超低エネルギー食は、1,000 kcal/日である。
- (5) インスリン感受性が高まる。

134 62歳、女性、主婦。身長160 cm、体重68 kg(標準体重56 kg)、BMI 26.6 kg/m²。

HbA1c(JDS)7.1%、HbA1c(NGSP)7.5%、空腹時血糖値150 mg/dL、血清クレアチニン値0.7 mg/dL、微量アルブミン尿(-)、血圧150/98 mmHgであった。この患者の栄養基準の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

	エネルギー (kcal/日)	たんぱく質 (g/kg 標準体重/日)	食塩 (g/日)
(1)	1,800	1.0~1.2	7.5
(2)	1,800	1.0~1.2	5.0
(3)	1,400	0.8	5.0
(4)	1,400	1.0~1.2	5.0
(5)	1,000	0.8	7.5

135 活動期クローン病の栄養療法である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 高動物性たんぱく質食
- (2) 高脂肪食
- (3) 高食物繊維食
- (4) ミキサー食
- (5) 成分栄養剤

136 肝性脳症を繰り返す肝硬変患者の管理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギー量は、20 kcal/kg 標準体重/日とする。
- (2) たんぱく質は、1.5 g/kg 標準体重/日とする。
- (3) 食物繊維を制限する。
- (4) ラクトースを投与する。
- (5) 芳香族アミノ酸を投与する。

137 慢性膵炎代償期患者が非代償期に移行した時に認められる変化である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 体重は増加する。
- (2) 血中アミラーゼ値は上昇する。
- (3) 血糖値は上昇する。
- (4) 腹部疼痛は増強する。
- (5) 消化吸収機能は亢進する。

138 高LDL-コレステロール血症の食事療法に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギー量は、15~20 kcal/kg 標準体重/日とする。
- (2) 飽和脂肪酸のエネルギー比率は、4.5%以上7.0%未満とする。
- (3) コレステロールは、400 mg/日以下とする。
- (4) 食物繊維は、10 g/日以下とする。
- (5) ビタミンAは、3,000 レチノール当量(μ gRE)/日以上とする。

139 糖尿病性腎症の顕性腎症前期(第3期 A)の食事療法に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギー量は、40 kcal/kg 標準体重/日とする。
- (2) たんぱく質は、0.8~1.0 g/kg 標準体重/日とする。
- (3) カリウムは、500 mg/日以下にする。
- (4) カルシウムは、400 mg/日以下にする。
- (5) 水分は、前日の尿量分に制限する。

140 55歳、女性、主婦。身長160 cm、体重60 kg、BMI 23.4 kg/m²。血圧160/100 mmHg、糸球体濾過量(GFR)95 mL/分/1.73 m²、尿たんぱく量0.8 g/日であった。この患者の栄養基準の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

	エネルギー (kcal/kg 標準体重/日)	たんぱく質 (g/kg 標準体重/日)	食塩 (g/日)
(1)	40	0.6	7.5
(2)	40	1.0	5.0
(3)	30	0.6	5.0
(4)	30	1.0	5.0
(5)	30	1.0	7.5

141 透析を受けている患者の食事療法に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 腹膜透析では、摂取するエネルギー量は透析液から吸収されるエネルギー量を差し引いて求める。
- (2) 腹膜透析では、たんぱく質を0.5 g/kg 標準体重/日とする。
- (3) 血液透析では、カリウムを制限しない。
- (4) 血液透析では、食塩を0.3 g/kg ドライウエイト/日とする。
- (5) 血液透析では、リンを1,200 mg/日以上とする。

142 内分泌疾患と血液検査値の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 甲状腺機能亢進症 ————— 血糖値の低下
- (2) 原発性アルドステロン症 ———— 血清カリウム値の上昇
- (3) 褐色細胞腫 ————— 血中アドレナリン(エピネフリン)値の低下
- (4) 原発性副甲状腺機能亢進症 ———— 血清リン値の上昇
- (5) 尿崩症 ————— 血漿浸透圧の上昇

143 進行した慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の栄養アセスメントの結果である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 体重の増加
- (2) 呼吸商の低下
- (3) 1秒率の上昇
- (4) 動脈血酸素分圧(PaO₂)の上昇
- (5) 動脈血二酸化炭素分圧(PaCO₂)の低下

144 食物アレルギーに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 牛乳アレルギーは、ラクトースがアレルゲンである。
- (2) 牛乳アレルギーの児童には、ヨーグルトを代替食とする。
- (3) アナフィラキシーショック時には、アドレナリン(エピネフリン)を投与する。
- (4) 診断には、IgM抗体値を用いる。
- (5) 卵のアレルゲン活性は、加熱処理によって増強する。

145 術後の栄養管理上の注意点に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 胃切除術後では、カルシウムの吸収障害を呈する。
- (2) 子宮がん術後では、ダンピング症候群を呈する。
- (3) 術後イレウスでは、下痢を呈する。
- (4) 肝臓がん術後は、分枝アミノ酸を制限する。
- (5) 人工肛門造設後は、水分制限を行う。

146 重症外傷患者の栄養代謝に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) グリコーゲンの合成が促進する。
- (2) 脂肪合成が促進する。
- (3) 糖新生が促進する。
- (4) 骨格筋たんぱく質の異化が低下する。
- (5) エネルギー代謝が低下する。

147 嚥下の過程とその内容の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 先行期 —— 食塊の形成
- (2) 準備期 —— 食物の捕捉
- (3) 口腔期 —— 咀嚼
- (4) 咽頭期 —— 蠕動運動
- (5) 食道期 —— 随意運動

148 先天性代謝疾患に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) メープルシロップ尿症は、シスタチオンβ合成酵素の障害である。
- (2) 糖原病Ⅰ型では、少量頻回食とする。
- (3) フェニルケトン尿症の治療は、成人期以降不要となる。
- (4) ホモシスチン尿症では、シスチン摂取制限とする。
- (5) ガラクトース血症では、ショ糖摂取制限とする。

149 27歳、女性。身長165cm、非妊娠時の体重が73.5kg、BMI 27.0 kg/m²の妊娠初期の妊娠糖尿病患者。この患者の栄養管理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギー量は、20 kcal/kg 標準体重/日とする。
- (2) たんぱく質は、0.6 g/kg 標準体重/日とする。
- (3) 炭水化物は、100 g/日とする。
- (4) 早朝空腹時血糖値の管理目標は、90 mg/dLとする。
- (5) 妊娠期間中の母体の体重増加量は、12 kgとする。

150 褥瘡に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 栄養状態の低下は、発症の外的要因である。
- (2) 重症度は、チャイルド分類を用いる。
- (3) 瘡部からたんぱく質が漏出する時期は、低たんぱく質食とする。
- (4) 水分制限は、褥瘡を改善させる。
- (5) 糖尿病は、悪化の要因となる。

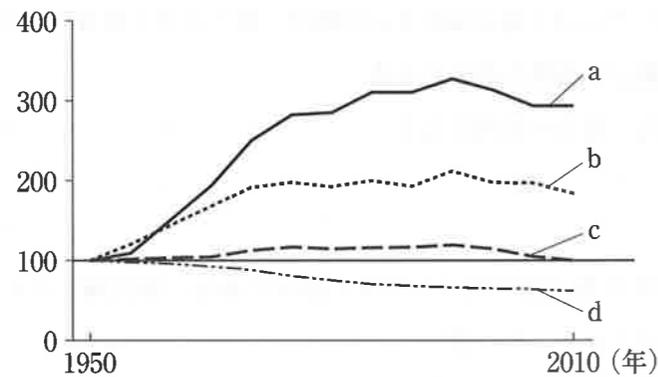
151 わが国の公衆栄養活動に関する法律・施策である。年代順に古いものから並べた。正しいのはどれか。1つ選べ。

- a. 食事バランスガイドの策定
 - b. 健康増進法の施行
 - c. 21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)の策定
 - d. 特定健康診査・特定保健指導の開始
- (1) c → b → a → d
 - (2) b → a → c → d
 - (3) b → c → d → a
 - (4) c → b → d → a
 - (5) b → c → a → d

152 21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)の栄養・食生活の項目の中で、最終評価で改善がみられたものである。正しいのはどれか。1つ選べ。

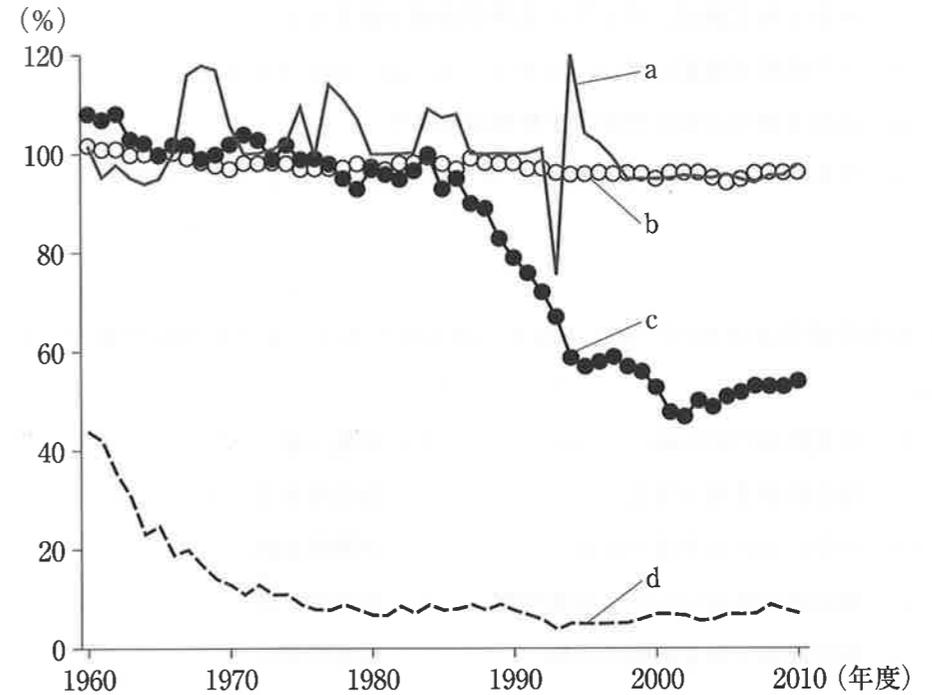
- (1) 適正体重を維持している人の割合
- (2) メタボリックシンドロームを認知している国民の割合
- (3) 朝食を欠食する人の割合
- (4) カルシウムに富む食品の摂取量
- (5) 野菜の摂取量

153 国民健康・栄養調査(国民栄養調査)結果の栄養素摂取量について1950年を100とした場合の年次推移を図に示した。図のa～dに相当する栄養素の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。



- | | a | b | c | d |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| (1) | カルシウム | 脂質 | たんぱく質 | 炭水化物 |
| (2) | 脂質 | カルシウム | たんぱく質 | 炭水化物 |
| (3) | カルシウム | 脂質 | 炭水化物 | たんぱく質 |
| (4) | 脂質 | カルシウム | 炭水化物 | たんぱく質 |
| (5) | 脂質 | たんぱく質 | カルシウム | 炭水化物 |

154 わが国の食料自給率のうち、品目別自給率の年次推移を図に示した。図のa～dに相当する食品の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。



- | | a | b | c | d |
|-----|----|-----|-----|-----|
| (1) | 米 | 魚介類 | 鶏卵 | 豆類 |
| (2) | 鶏卵 | 米 | 魚介類 | 豆類 |
| (3) | 米 | 鶏卵 | 魚介類 | 豆類 |
| (4) | 鶏卵 | 米 | 豆類 | 魚介類 |
| (5) | 米 | 鶏卵 | 豆類 | 魚介類 |

155 開発途上国の健康・栄養問題の現状に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 肥満者数が、増加傾向にある。
- (2) 栄養不足者数は、アジア・太平洋地域が最も多い。
- (3) 主な微量栄養素欠乏は、ビタミン A、鉄、ヨウ素である。
- (4) 5歳未満児の死亡率が、上昇傾向にある。
- (5) 栄養の二重苦(double burden of malnutrition)が発生している。

156 公衆栄養関連法規の内容と法規名の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 栄養指導員の任命 ————— 栄養士法
- (2) 食事摂取基準の策定 ————— 食育基本法
- (3) 学校における食育の推進 ————— 学校給食法
- (4) 特定給食施設における栄養管理 ——— 食品衛生法
- (5) 国民健康・栄養調査の実施 ————— 地域保健法

157 健康増進法に基づいて厚生労働大臣が行うものとされている事項に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 国民の健康増進の推進に関する基本方針を定める。
- (2) 都道府県による専門的な栄養指導の実施内容を定める。
- (3) 国民健康・栄養調査員を任命する。
- (4) 栄養表示基準を定める。
- (5) 管理栄養士を配置する特定給食施設を指定する。

158 国民健康・栄養調査の実施に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 調査に伴う費用は、都道府県が負担する。
- (2) 調査対象地区は、都道府県知事が選定する。
- (3) 毎年、状況を把握する項目に喫煙習慣がある。
- (4) 毎年、検査する項目に開眼片足立ちがある。
- (5) 栄養摂取状況調査は、食物摂取頻度調査法を用いる。

159 食育基本法および第2次食育推進基本計画に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食育推進会議の会長は、厚生労働大臣である。
- (2) 市町村は、食育推進計画を作成しなければならない。
- (3) 栄養教諭の配置を義務づけている。
- (4) 農業体験への参加を推進している。
- (5) 第2次食育推進基本計画は、10年計画である。

160 ある集団において、食事記録法により把握したビタミン B₁ 摂取量のデータを解析した。ビタミン B₁ を含むサプリメント摂取による「はずれ値」の影響を受けやすい指標である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 平均値
- (2) 最頻値
- (3) 中央値
- (4) 変動係数
- (5) 25パーセンタイル値

161 食事調査法に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 24時間食事思い出し法では、習慣的な食事内容の変更が生じやすい。
- (2) 秤量法は、他の調査結果の精度を評価する基準とされる。
- (3) 目安量法では、目安量と食品重量の標準化が必要である。
- (4) 食物摂取頻度調査法は、集団内での摂取量のランク付けができる。
- (5) 陰膳法では、日本食品標準成分表に記載されていない食品を評価できる。

162 食事調査における、栄養素摂取量のエネルギー調整に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 過小申告の程度を判断するのに有効である。
- (2) 総エネルギー摂取量の影響を考慮した評価法である。
- (3) PFCバランスは、残差法によるエネルギー調整値である。
- (4) 密度法によるエネルギー調整値は、観察集団のエネルギー摂取量の平均値によって異なる。
- (5) 密度法によるエネルギー調整値は、観察集団の栄養素摂取量の平均値から算出する。

163 ある地域集団100人に対して行った食事調査の結果を表に示した。日本人の食事摂取基準(2010年版)を用いて評価したときの、この集団におけるビタミンB₁の不足者割合である。正しいのはどれか。1つ選べ。

ただし、この集団におけるビタミンB₁の推定平均必要量(EAR)は1.0 mg/日、推奨量(RDA)は1.2 mg/日とする。

表 地域集団100人におけるビタミンB₁の習慣的摂取量

習慣的摂取量 (mg/日)	人数 (人)	累積割合 (%)
0.50未満	1	1
0.50~0.59	0	1
0.60~0.69	1	2
0.70~0.79	7	9
0.80~0.89	20	29
0.90~0.99	25	54
1.00~1.09	22	76
1.10~1.19	15	91
1.20~1.29	6	97
1.3以上	3	100
合計	100	

平均値：1.23 mg/日 中央値：0.94 mg/日

- (1) 0%
- (2) 29%
- (3) 54%
- (4) 76%
- (5) 91%

164 社会調査法に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 統制観察は、結果を定量化して評価できない。
- (2) 統制観察は、非統制観察よりも日常に近い条件下で調査できる。
- (3) 自計調査は、口頭で質問し、口頭で回答を得る方法である。
- (4) 自計調査は、他計調査よりも調査者によるバイアスがかかりやすい。
- (5) 自計調査は、他計調査よりも記入もれが多い。

165 A市において「肥満者が増加している」という公衆栄養プログラムの改善課題が抽出された。プリシード・プロシードモデルに基づいた、この課題の準備(前提)要因である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 自分の適正体重を知らない。
- (2) 健康的な生活習慣について学ぶ機会がない。
- (3) 食生活改善に取り組む仲間がいない。
- (4) 身近に運動できる場所がない。
- (5) 身近にヘルシーメニューを提供する店がない。

166 プリシード・プロシードモデルにおける運営・政策アセスメントに関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 住民の健康状態をアセスメントする。
- (2) 地域の社会資源をアセスメントする。
- (3) 予算の過不足について検討する。
- (4) 関連法規との整合性を検討する。
- (5) 既存の医療・福祉計画との調整をする。

167 公衆栄養プログラムの目標設定に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 目標は、地域の現状を把握する前に設定する。
- (2) 調査で得られたデータから、目標値を設定する。
- (3) 短期目標は、プログラム実施後の健康状態に関する目標である。
- (4) 長期目標は、プログラムの実施状況に関する目標である。
- (5) 長期・中期・短期目標は、相互に独立している。

168 公衆栄養プログラムの評価に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 計画を作成した者全員で行う。
- (2) 計画段階からモニタリング方法を考える。
- (3) 費用対効果は対象外とする。
- (4) 目標で取り上げなかった変化も対象とする。
- (5) プログラム参加を中断した者も対象とする。

169 公衆栄養プログラムの評価項目と評価の種類との組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 周囲の理解度の変化 ————— 経過評価
- (2) 行動の変化 ————— 経過評価
- (3) プログラムの実施状況の変化 —— 影響評価
- (4) 社会資源の利用度の変化 ————— 結果評価
- (5) 健康指標の変化 ————— 結果評価

170 特定健康診査・特定保健指導に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 65歳以上の対象者を優先して、積極的支援を行う。
- (2) 疾病の三次予防を目的としている。
- (3) 禁煙指導は含まれない。
- (4) 受診者全員に個別対応の情報を提供する。
- (5) 事業の企画はアウトソーシングできる。

171 給食利用者への情報提供と関連法規の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) アレルギー原因物質を含む食品 —— 健康増進法
- (2) 原材料の生産地 —— 健康増進法
- (3) 献立 —— 食品衛生法
- (4) 献立の栄養成分 —— 健康増進法
- (5) 給食費 —— 食品衛生法

172 給食経営管理におけるサブシステムと管理業務の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 栄養・食事管理 —— 棚卸しの実施
- (2) 食材料管理 —— 調理員配置表の作成
- (3) 生産管理 —— 調理工程表の作成
- (4) 衛生管理 —— 献立の作成
- (5) 人事管理 —— CCP(critical control point)の設定

173 保育所において調理業務を外部委託する場合に、あわせて委託してもよい給食業務である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 献立作成基準に基づく献立の作成
- (2) 提供する給食の検食
- (3) 喫食状況の把握
- (4) 嗜好調査の実施
- (5) 栄養指導の実施

174 給食経営管理における栄養・食事管理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 栄養管理の目標は、調理従事者の健康管理である。
- (2) 栄養管理の対象は、献立の成分値である。
- (3) 顧客満足度は、食事管理の評価の対象にならない。
- (4) カフェテリア方式では、食事管理ができない。
- (5) 給食の品質目標には、栄養教育の目標を反映させる。

175 マーケティングの戦略と、事業所給食の利用率を向上させる取組みの組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 商品戦略 —— イン트라ネットを活用したイベント開催の通知
- (2) 流通戦略 —— ヘルシーメニューの値下げ
- (3) 価格戦略 —— ポーションサイズの小量化
- (4) プロモーション戦略 —— 食堂の場所の見直し
- (5) 市場戦略 —— 開発メニューのターゲットの決定

176 病院における組織に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食事療養部門が事務部門の下に組織されている場合は、ライン組織である。
- (2) 食事療養部門が診療部門の下に組織されている場合は、マトリックス組織である。
- (3) 栄養サポートチーム(NST)は、ラインアンドスタッフ組織である。
- (4) 食事療養部門の調理業務を外部委託している場合は、事業部制組織である。
- (5) 食事療養部門を業務の専門に分けて組織する場合は、ファンクショナル組織である。

177 昼食を提供する従業員食堂における利用者の食事計画に必要な項目と、その調査内容の組合せである。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食生活状況の把握 ————— 朝食の摂取頻度の調査
- (2) 身体活動レベルの把握 ——— 年齢階級別人数の調査
- (3) 食事提供量の設定 ————— BMI の調査
- (4) 献立計画 ————— 性別人数の調査
- (5) 嗜好の把握 ————— 料理別売上の調査

178 特定給食施設における日本人の食事摂取基準(2010年版)に基づく給与目標量の設定に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギー量は、推定エネルギー必要量(EER)を用いる。
- (2) たんぱく質は、推定平均必要量(EAR)を用いる。
- (3) 脂肪エネルギー比率は、20%を超えないようにする。
- (4) 炭水化物エネルギー比率は、50%を超えないようにする。
- (5) 食塩相当量は、目標量(DG)を下回らないようにする。

179 特定給食施設における栄養管理の実施に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 利用者の身体状況は、定期健康診断で把握する。
- (2) 献立は、得意料理の固定メニューとする。
- (3) 献立は、日常の食事量を上回るように計画する。
- (4) 衛生管理は、衛生関係法規に準じて行う。
- (5) 実施後の献立表は、随時処分する。

180 調理工程の標準化に関係する項目である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食材料の加工度
- (2) 料理の調味割合
- (3) 調理の加熱温度
- (4) 付随作業の時間
- (5) 調理機器の能力

181 シチューのでき上がり量が予定量と一致しなかった。この適合品質の低下要因である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 野菜の廃棄量
- (2) 野菜の付着水量
- (3) シチューの加熱時間
- (4) スープの蒸発率
- (5) 提供食数

182 給食原価の構成に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 調理従事者の福利厚生費は、経費である。
- (2) 調理従事者の細菌検査費用は、人件費である。
- (3) 調理機器の減価償却費は、経費である。
- (4) 食器の洗剤費用は、材料費である。
- (5) メニューのサンプル展示にかかる費用は、材料費である。

183 学校給食における食材料管理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 発注量の算出は、1人分の純使用量に食数を乗じて求める。
- (2) 生鮮食材料の納期は、使用日の当日とする。
- (3) 期間中の食材料費は、期間支払金額から在庫金額を差し引いて求める。
- (4) 検収は、すべての食品の納品完了後に一括して行う。
- (5) 生鮮魚介類の保管は、10℃以下を維持する。

184 給食の生産・提供システムに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) クックサーブシステムでは、生産と異なる日に提供する。
- (2) コンベンショナルシステムでは、在庫量に合わせて生産量を調節できる。
- (3) レディフードシステムでは、生産から提供までを連続して行う。
- (4) セントラルキッチンシステムは、調理機能が複数に分散している。
- (5) カミサリーシステムは、複数の離れた施設に配送・提供する。

185 給食施設において予測される事故・事例とその防止対策の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 配膳ミス ————— 機器類の定期点検
- (2) 異物混入 ————— 検便検査の実施
- (3) 調理従事者の怪我 ————— 毛髪ネットの着用
- (4) ヒヤリ・ハット事例の再発 ———— 調理業務の外部委託化
- (5) 食中毒の発生 ————— インシデントレポートの分析

186 ハンバーグ調理の作業工程時に想定される危害と、その対応の組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 材料受け入れ時の腐敗 ———— 手指の洗浄・殺菌
- (2) 混合時の細菌増殖 ————— 加熱
- (3) 成型時の細菌汚染 ————— 専用手袋の着用
- (4) 加熱時の細菌生残 ————— アルコール消毒
- (5) 配膳時の異物混入 ————— 再加熱

187 大量調理施設衛生管理マニュアルに基づいた施設設備の衛生管理に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ねずみ、こん虫の駆除は、1年に1回実施する。
- (2) 貯水槽設置施設では、使用水の遊離残留塩素を0.01 mg/L以上とする。
- (3) 器具・容器等の洗浄・殺菌は、食品が調理場から搬出された後に始める。
- (4) 便所の消毒には、70%アルコール溶液を用いる。
- (5) まな板は、換気のよい場所に並べて保管する。

188 病院給食施設の災害時対策に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 発災時に備え、他施設や企業等と協力支援体制を整備する。
- (2) 発災時のマンパワー確保のため、緊急連絡網を整備する。
- (3) 災害のための備蓄食品は、日常の献立にも使用する。
- (4) 災害のための備蓄食品は、患者用として1日分を整備する。
- (5) ライフラインが断たれることを想定し、熱源は複数を用意する。

189 特定給食施設における調理室の設備に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 室温を 30℃ 以下に保つことができるように空調システムを整備する。
- (2) 湿度を 85% 以下に保つことができるように空調システムを整備する。
- (3) 汚染作業区域から非汚染作業区域へ空気が流れるように換気システムを整備する。
- (4) 作業動線が 2 方向となるように機器を配置する。
- (5) 排水溝の閉塞を防止するためにグリストラップを設ける。

190 病院給食における人事管理に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 従業員の配置に、労働条件の公平性を配慮する。
- (2) 給食運営委員会の構成メンバーに、調理従事者を含める。
- (3) 調理従事者に、施設の経営目的・理念を伝える。
- (4) 従業員の人事考課では、業務態度を除く。
- (5) 検食業務に、栄養士を配置する。

次の文を読み「191」、「192」に答えよ。

下表は、B 県にある A 町の人口静態および人口動態について、B 県全体と比較したものである。

	人口静態 (人)				人口動態				死因分類別死亡率 (人口 10 万対)	
	総人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	出生率 (人口千対)	粗死亡率 (人口千対)	年齢調整死亡率 (人口千対)	乳児死亡率 (出生千対)	悪性新生物 (粗死亡率)	悪性新生物 (年齢調整死亡率)
A 町	20,000	3,000	12,000	5,000	8.5	9.2	4.1	2.2	300	140
B 県	1,000,000	180,000	620,000	200,000	9.2	9.0	4.1	2.4	280	145

191 上記の表から読みとることのできる、B 県全体と比較した A 町の地域診断に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 人口当たりの死亡者数は等しい。
- (2) 悪性新生物の罹患率が高い。
- (3) 高齢者の割合が高い。
- (4) 人口の自然増がみられる。
- (5) 生産年齢人口割合が低い。

192 上記の表における B 県全体との比較に基づき、A 町における公衆衛生活動の重点課題を検討した。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 高齢者の自立支援
- (2) 妊産婦に対する食生活改善指導
- (3) 職域における食環境整備
- (4) メタボリックシンドローム対策
- (5) がんの一次予防

次の文を読み「193」、「194」に答えよ。

日本人の主食であるご飯に関する記述である。精白米(穀粒)および精白米(めし)の一般成分およびナイアシン含量は、表1の通りである。また、表2には精白米(めし)の amino 酸組成を示した。

表1 可食部 100 g 当たりの食品成分値(日本食品標準成分表 2010)

	エネルギー (kcal)	水分 (g)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)	灰分 (g)	ナイアシン (mg)
精白米(穀粒)	356	15.5	6.1	0.9	77.1	0.4	1.2
精白米(めし)	168	60.0	2.5	0.3	37.1	0.1	0.2

表2 精白米(めし)100 g 当たりの amino 酸含量
(日本食品標準成分表標準拠 amino 酸成分表 2010)

amino 酸	イソロイシン	ロイシン	リシン	含硫 amino 酸	芳香族 amino 酸	トレオニン	トリプトファン	バリン	ヒスチジン
含量(mg)	91	190	83	110	220	84	35	430	61

193 精白米(穀粒)から精白米(めし)への重量変化率(%)を、エネルギー値から推定した値である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 50
- (2) 150
- (3) 180
- (4) 210
- (5) 300

194 精白米(めし)200 g のナイアシン当量(mgNE)である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 0.2
- (2) 0.4
- (3) 0.8
- (4) 1.2
- (5) 1.6

次の文を読み「195」、「196」に答えよ。

9月に学校給食を食べた児童に発熱、下痢、嘔吐の症状が確認された。調査の結果、初発探知が報告された3日前の給食が原因の食中毒と断定された。有症児童数のピークは原因の給食を食べた日から4日目であった。原因となった給食の献立は、食パン、蒸し鶏のサラダ(鶏肉、卵、じゃがいも、マヨネーズ)、ワントンスープ、牛乳であった。調理前の食品の保存食および有症児童の便からは、病因物質が同定された。しかし、調理済み食品の保存食からは、確認できなかった。調理工程の記録から、すべての加熱調理は75℃以上、1分間以上の加熱を確認できた。

195 この食中毒の病因物質である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ノロウイルス
- (2) ウェルシュ菌
- (3) 黄色ブドウ球菌
- (4) 腸炎ビブリオ
- (5) カンピロバクター

196 今回の食中毒事故の再発を防止するために、衛生管理として徹底すべき事項である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) ステンレス器具から木製器具への変更
- (2) 汚染作業区域から非汚染作業区域の作業に移る前の手洗い
- (3) 加熱調理に関して85℃以上、1分間以上の加熱
- (4) 調理従事者家族の検便検査
- (5) 給食当番児童の検便検査

次の文を読み「197」、「198」に答えよ。

Aさん、45歳、男性。会社員。特定健康診査の結果は、身長166cm、体重71kg、BMI 25.8 kg/m²、腹囲84cm、血圧134/82 mmHg、血清中性脂肪値163 mg/dL、血清HDL-コレステロール値43 mg/dL、空腹時血糖値98 mg/dLであった。また、問診により以下のことが明らかとなった。服薬なし。食事は早食いである。通勤で30分は歩いているが、特に運動はしていない。飲酒量は毎日ビール中瓶1本。喫煙は20歳から1日20本。生活習慣を変えるつもりはない。

197 特定保健指導では、最初に、内臓脂肪蓄積のリスクを判定する(ステップ1)。次に、追加リスクをカウントし(ステップ2)、保健指導レベルを決定する。Aさんの追加リスクの数と保健指導レベルの組合せである。正しいのはどれか。1つ選べ。

	追加リスクの数	保健指導レベル
(1)	4	積極的支援
(2)	3	積極的支援
(3)	2	積極的支援
(4)	2	動機付け支援
(5)	1	動機付け支援

198 Aさんの行動変容ステージにおける初回面接での対応である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 健診結果を見て、どのように感じていらっしゃいますか。
- (2) 内臓脂肪の蓄積により、心筋梗塞や脳卒中が起こりやすくなりますが、ご存じですか。
- (3) 現在の生活習慣を続けて病気になると、家族にどのような影響が出てくると思われますか。
- (4) 週末には、2時間程度の運動をしてみましょう。
- (5) 禁煙することについて、どのようにお考えですか。

次の文を読み「199」、「200」に答えよ。

60歳、男性。腸閉塞で入院1週間目、中心静脈栄養管理を行っている。身長165 cm、体重60 kg、体温36.5℃。1日の補液量は2,000 mLで、補液中のNa⁺含有量は50 mEq/Lである。尿量は800 mL/日、尿中Na排泄量は400 mEq/Lであった。ただし、排便、排液による水分、電解質の喪失は考えないものとする。

199 代謝水を300 mL/日としたときの1日の水分バランスに関する評価である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 約1,500 mLの正のバランスである。
- (2) 約600 mLの正のバランスである。
- (3) 平衡状態である。
- (4) 約600 mLの負のバランスである。
- (5) 約1,500 mLの負のバランスである。

200 1日のNaバランスに関する評価である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 約350 mEqの正のバランスである。
- (2) 約220 mEqの正のバランスである。
- (3) 平衡状態である。
- (4) 約220 mEqの負のバランスである。
- (5) 約350 mEqの負のバランスである。

2. 第27回管理栄養士国家試験 正答

問番号	正答	問番号	正答	問番号	正答	問番号	正答
1	5	51	4	101	2	151	1
2	2	52	3	102	1	152	2
3	5	53	1	103	1	153	2
4	5	54	5	104	4かつ5	154	3
5	1	55	3	105	4	155	4
6	2	56	4	106	5	156	3
7	3	57	4	107	2	157	1
8	1	58	4	108	3	158	3
9	5	59	4	109	4	159	4
10	2	60	3	110	3	160	1かつ4
11	4	61	4	111	5	161	1
12	4	62	1	112	2かつ4	162	2
13	5	63	3	113	4	163	3
14	2かつ3	64	2かつ4	114	3	164	5
15	4	65	4	115	3	165	1
16	3	66	2かつ5	116	1	166	1
17	4	67	3	117	4	167	2
18	4	68	5	118	1	168	3
19	1	69	5	119	1	169	5
20	4	70	2	120	2	170	4
21	3	71	3	121	2	171	4
22	1	72	3	122	3かつ4	172	3
23	5	73	1	123	2	173	1
24	5	74	5	124	2	174	5
25	4	75	1	125	3	175	5
26	3	76	4	126	4	176	5
27	2	77	4	127	2	177	2
28	4	78	2かつ5	128	4	178	1
29	2	79	1	129	4	179	1かつ4
30	3	80	5	130	3	180	4
31	2	81	4	131	2	181	5
32	5	82	5	132	3	182	3
33	2	83	4	133	3	183	2
34	5	84	3	134	4	184	5
35	3かつ5	85	1	135	5	185	5
36	4	86	1	136	4	186	3
37	4	87	3	137	3	187	3
38	2	88	4	138	2	188	4
39	5	89	3	139	2	189	5
40	3	90	4	140	4	190	4
41	3	91	5	141	1	191	3かつ5
42	3	92	4	142	5	192	1
43	3	93	1	143	2	193	4
44	4	94	5	144	3	194	5
45	5	95	3	145	1	195	5
46	1かつ3	96	5	146	3	196	2
47	1	97	3	147	2	197	2
48	2	98	2	148	2	198	4
49	2	99	4	149	4	199	2
50	5	100	3	150	5	200	4

1. 第27回管理栄養士国家試験の結果について

平成25年3月17日 実施

平成25年5月7日合格発表

1) 合格基準

配点を1問1点とし、次の基準を満たす者を合格とする。

総合点120点(60%)以上の者

2) 合格状況

受験者20,455名 合格者7,885名 合格率38.5%

(参考) 年次別受験者数、合格者数、合格率

	平成23年 (第25回)	平成23年 (第25回追加)	平成24年 (第26回)
受験者数	19,923	1,562	21,268
合格者数	8,067	532	10,480
合格率	40.5%	34.1%	49.3%

3) 学校区分別合格者状況

	受験者数	合格者数	合格率
管理栄養士養成課程 (新卒)	8,073名	6,680名	82.7%
管理栄養士養成課程 (既卒)	2,021名	160名	7.9%
栄養士養成課程 (既卒)	10,361名	1,045名	10.1%